

現代を生きる

第1講

高齢・少子社会に生きる ― 最期をどう迎えるか

9/11 (木) 小惊喜一郎 教授 (福祉学科)

第2講

ナイチンゲールからのメッセージ ― 看護師が伝える技

9/18 (木) 森田なつ子 教授 (看護学科)

第3講

グローバル社会を生きる ― 国際協力と教育の間から見えるもの

9/25 (木) 林原 慎 教授 (こども学科)

第4講

心の健康づくりについて

10/2 (木) 小玉一樹 教授 (経営学科)

第5講

現代に生きる哲人の言葉 ― 現代社会を生きる知恵とは？

10/9 (木) 上村 崇 教授 (健康スポーツ科学科)

平成 26 年度

福山平成大学公開講座

日 時 : 9 月 11 日 (木) ~ 10 月 9 日 (木) 全 5 講座 18 : 30 ~ 20 : 00

会 場 : 福山平成大学 7 号館大講義室

申込期間 : 8 月 1 日 (金) ~ 9 月 5 日 (金)

申込方法 : 別紙、受講申込ハガキに所要事項を記入の上、郵送または持参

受講料 : 無 料

定 員 : 250 名

受講証 : 5 講座中 4 講座以上の受講者に受講証を授与

申込及び問合せ先 : 庶務課

〒720-0001 福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL : (084) 972-5001 FAX : (084) 972-7771

※本学へお越しの際は、公共交通機関もしくは、自家用車等をご利用ください。

主 催 : 福山平成大学

後 援 : 福山市 福山市教育委員会 福山商工会議所 府中商工会議所



現代を生きる

グローバル化社会の進展のなか私たちは実践的意欲的な生活及び労働、そして他者との共感性の創造志向が求められています。これは、「生涯発達」「生涯学習」、そして「生涯現役」というライフスパンを見通した人生設計と言えます。すなわち、誕生してから人生の最期までの間、生活及び労働の主人公となるべく生きる知恵を培い、また多様化した社会のなかで「つながる」ことの大切さを言い表しています。福山平成大学（3学部5学科）では、学際的アプローチのもと「現代を生きる」知恵と活力を産み出すことをねらいに今年度の公開講座を計画しました。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

第1講 9月11日（木） 高齢・少子社会に生きる～最期をどう迎えるか～

小椋 喜一郎 教授（福祉学科）

厚生労働省は、「地域包括ケアシステム」により、様々な生活支援サービスが日常生活の場で適切に提供できる体制を整備し、可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができることを掲げ、さらに「地域医療・介護確保法」を制定し、効率的・効果的な医療介護の提供体制を確保することとしています。しかし、特別養護老人ホームは、要介護度3以上でないと入所ができなくなるなど、施設の在り方や個人の費用負担の増加など大きく変わろうとしています。一方、2025年、団塊世代は、75歳以上の後期高齢者となっていきます。家族とのつきあいの希薄化、地域の助け合い機能の縮小のなかで、地域社会は深刻な状況に置かれています。人生を満ち足りたやさしさに終えるためにはどのような準備や対策が必要なのか皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

第2講 9月18日（木） ナイチンゲールからのメッセージ～看護師が伝える技～

森田 なつ子 教授（看護学科）

ナイチンゲールは1820年5月12日にイタリアのフロレンスで生まれました。日本ではこの日を「看護の日」と定めています。著書「看護覚え書」では、患者を取り巻くすべてのもの、「新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさ」の適切な利用と、食事の適切な選択と供給こそが看護の要素である」と述べ、私たちが持つ、自然回復力を引き出すために環境に働きかけることが不可欠であることを説いています。

現在、日本では高齢社会の到来による在宅看護の需要が高まっています。「看護覚え書」は、在宅看護の視点から手引書としても読むことができるでしょう。そこで、私たちの日常生活のなかでの環境に目を向けて、健康を守るための技について考えていきましょう。

第3講 9月25日（木） グローバル社会を生きる～国際協力と教育の間から見えるもの～

林原 慎 教授（こども学科）

人、モノ、カネ、情報が自由に世界中を駆け巡るグローバルな現代社会において、世界はより身近になっています。しかしながら、開発途上国の教育の現状と課題についてはあまり知られていません。本講では、開発途上国において実施された参加型学習を取り入れた国際教育協力の事例を具体的に紹介します。また、海外から見た日本の教育についても併せて考察します。国際協力と教育の現場で培われた視点から、われわれはこのグローバル社会をどのように生きていけばよいのか、そして、今後どのような人材を育てていけばよいのか、一緒に考えてみたいと思います。

第4講 10月2日（木） 心の健康づくりについて

小玉 一樹 教授（経営学科）

現代社会を取り巻く環境の変化は労働態様や雇用形態にも大きな影響を及ぼし、また、技術革新の進歩は職場のIT化を急速に進めることになりました。その結果、職場環境に対する不適応や職場のコミュニケーションの希薄化などが生じ、仕事や職業生活への強い不安や悩み、ストレスを抱える人は増加傾向にあります。また、こうした心の不調による休職や離職も増加するなど、働く人の心身の健康問題は大きな社会問題となっています。働く人たちがその持てる能力を発揮し、仕事や職場で活躍するためには、心の健康管理が重要だといえます。本講座では、メンタルヘルスケア（セルフケア）に関する知識や対処方法などについて学習します。

第5講 10月9日（木） 現代に生きる哲人の言葉～現代社会を生きる知恵とは？～

上村 崇 教授（健康スポーツ科学科）

現代の日本社会には経済格差の問題、少子高齢化の問題、エネルギー問題など多くの課題が山積しています。また、価値観が多様化した現代、生きる指針をみつけることが困難になってきています。現代社会を生きていくうえで、素早く時代の変化に対応する知識を身につけて、考えずに走り続けることも必要かもしれません。しかし、このような時代だからこそ、一歩立ち止まって、現代社会や私たちの生きる意味について考えることが必要だとわたしは思います。「幸福」ってどんなこと？「正しい」ってどんなこと？「自由」ってなに？「わたし」ってなに？こうした問いは、生きていくうえでだれもが一度は考えることですが、2000年以上にわたって繰り返し考えられてきたテーマでもあります。この講座では、現代の社会問題と関連づけながら哲学者の思想を紐解き、現代を生きる知恵についてみなさんと一緒に考えていきたいと思います。